

鬼の棲まう岩谷

あすっこ紹介

藤島徹夫さん、洋人さん、由衣さん

足助の名スポット紹介
よりみち

読者のみなさんの“声”



🔍 鬼の棲まう岩谷

岩谷地区にある岩谷観音。まるで巨石に抱かれる様に観音堂と稲荷社が祀られています。

その昔この岩穴に鬼が住んでおり、たびたび悪さをしては村人を苦しめていたそうです。それを聞いた聖徳太子が観音様を、また行基という僧が十一面観音様を下さり、その法力によって鬼たちは大人しくなったと伝わっています。この二体の仏像は秘仏として17年ごとに御開帳され、今も地域の方たちに大切に祀られています。

また村人が飼っていた鶏が岩穴に入ったきり出てこず、飼い主が長野県の善光寺で鶏を見つけたことから、善光寺へつながっていると云われています。(鈴木悠太)

Google マップ





左から藤島洋人さん、由衣さん、徹夫さん



現在の足助小学校



講堂（昭和13年建築）



前号（第40号）に引き続き、開校150年を迎える小学校のうち、明治5年（1872年）に創立した足助小学校を特集します。今回は、3世代に渡って足助小学校を学び舎としてきた藤島徹夫さん（71歳・昭和38年卒業）、洋人さん（45歳・平成2年卒業）、由衣さん（11歳・6年生）ご家族にいろいろな思い出話をお聞きしました。

3世代に共通する足助小学校の話題はありますか？

徹夫さん・洋人さん 校歌（昭和32年制定「みどりの山に」）は3世代共通で歌えると思います。

由衣さん 講堂は今も残っていて、体育館として使っています。今は開校150周年記念で作った手ぬぐいの染め物が飾ってあります。

150周年記念で児童が作成した手ぬぐいの染め物



洋人さん・由衣さん 私たちは京都・奈良です。

徹夫さん お土産で親父にお猪口を買ったことを覚えていますね。

洋人さん・由衣さん お小遣いは全部自分のために使いました（笑）

給食の思い出を聞かせてください。

徹夫さん おかずは覚えていないけど、パンと脱脂粉乳の時代でしたね。肝油（栄養剤）もあったかな。そんなに美味しいものではなかったけど、みんなで食べるから楽しかったね。

洋人さん 自分のときはビン牛乳でしたね。

由衣さん 牛乳は四角い紙パックです。



給食（昭和38年）

修学旅行はどこに行きましたか？

徹夫さん 車で伊勢に行きましたね。二見ヶ浦に泊まった記憶があります。

学校行事などで覚えていることはありますか？

徹夫さん 12月頃、コークスストーブの焚き付けのために、授業の代わりに飯盛山で杉の葉や枝を拾った記憶



青空給食（平成元年）



がありますね。

洋人さん 煙突付きの石油ストーブでしたね。

由衣さん ストーブも使いますが、各教室にエアコンがあります。

徹夫さん 雪の積もった日は車も通らないから、ランドセルをソリにして坂道を滑って遊んでたなあ。

遊具チャンピオン大会（平成元年）



足助小学校にしかないイベントとかはありますか？

洋人さん 自分たちの世代は、グラウンドの周囲や第2グラウンド（現在は足助中プール）に遊具がたくさんあり、年に1回学校行事として「遊具チャンピオン大会」というイベントがありました。丸太の上を走ったり、三角山のロープを上ったり、タイムトンネルというすべり台を滑ったりして、タイムや点数を競いました。今はもうありませんが、体育倉庫の前には各種目の歴代チャンピオンの名前が刻まれていたと思います。

徹夫さん 遊具は鉄棒ぐらいしかなかったかな。遊具はなくても外で遊ぶところはたくさんあったと思います。

由衣さん タイムトンネルは今でもあります。あと、今はコロナ渦でやっていないけど、プールで全学年が遊ぶウォーターフェスタという行事がありました。

洋人さん 学校にプールができたのが平成6年なので、自分たちは足助町民プールに行っていました。

徹夫さん 低学年は紙屋（旧鈴木家住宅）の下の足助川で、高学年は巴川で泳いでいたかな。

足助小学校が150年を迎えることに何か感じることは

遊具チャンピオン大会（平成2年）



ありますか？

洋人さん 弟の担任の先生が現在足助小学校の校長となっていることや、自分の担任の先生が放課後児童クラブの先生として娘を教えていたことなど、小さい頃の自分を知られている恥ずかしさもありつつ、世代間のつながりを感じています。

徹夫さん 地元出身の先生が多かったことで、先生を含めた学校と家族の係わりが生まれていて、そこにも歴史を感じます。

（川口純）

旧校舎（昭和48年まで）



タイムトンネル（現在使用不可）



【足助の名スポット紹介】

就労継続支援B型 事業所

よ り み ち



📍 新盛自治区北小田町の国道153号線沿いにある『よしみち』は、障がいのある方が働く練習をする場所であり、日中の居場所としての機能を持つ。代表の今枝美恵子さん(市木町)と、施設長の鈴木悠太さん(野林町)が立ち上げた特定非営利活動法人みちが運営している。

お二人は、精神障がいの方を対象とした福祉施設で働いていたが、中山間地域に精神障がい者に特化した福祉施設がないため、作りたいと考えて2017年に前身の『畦道』を開所。手狭なこと、居場所としての機能を持ちたかったため、空き家バンクで見つけた物件を購入し、クラウドファンディングも活用して、今年5月に『よしみち』を開所した。地域の人に気軽に立ち寄ってもらって、こういう仕事もやってもらえないかと声をかけてもらえる場所になると良いと考えているそうだ。

築52年の空き家の内装を地元材でリノベーション。訪問

時には、豊田市産のヒノキを使い、小原和紙のカードが添えられた額縁(写真立て)を作る作業が行われており、室内は木の香りに満たされていた。この額縁は、豊田市で婚姻届けを出された方にプレゼントされるもの。

木工用の工具がそろえられており、椅子座面の研磨作業も行われていた。高齢者宅の草取り、お寺の清掃、畑仕事、薪割りなど、施設外での作業もある。この地域に住み続け、この地域だからできる仕事を、ひとりひとりの能力に合う作業として、興味を持って取り組めるよう心掛けている。

利用登録者は現在19名。中山間地域の利用者が中心だが、自然環境が良いということで、豊田市街からの利用者もある。送迎にも対応しており、昼食は旬の食べ物を地元の方に調理してもらって提供している。まだまだ利用者を募集中だ。支援スタッフも人手不足であり募集中のこと。まずは、気軽に立ち寄ってみて、その活動を見て、聞いて、知ってもらえると良いと思う。(高木伸泰)



フェイスブック

フェイスブック：<https://www.facebook.com/chusankan.fukushi>
メール：toyota.chusankan.fukushi@gmail.com



🍃 読者のみなさんの声をご紹介します

読者アンケートのご意見・ご感想の一部を紹介します！他にもたくさんのご意見をいただいています。QRコードでスマホからアクセスしてご覧ください。



ご意見ご感想

- 表紙(お姫滝)：夏の暑い季節に滝の写真が表紙にあり涼しさを感じさせ、ふるさとを思い出させてくれるとてもよい表紙だと思います。／足助に住んでいても知らなかったので一度行ってみたいと思います！
- 開校150年記念事業紹介(萩野小学校)素晴らしい取り組みです♪♪／木がたくさん使われた美しい内装の校舎なのがよわかりました。川のせせらぎを聞きながらの給食なんて最高ですね！
- 足助のプロジェクト(GonzoreTRAIL)：少し前にケーブルTVで見えて知りました。孫を連れて遊びに行きたいです。／インスタグラムを拝見しています。森の美しさを知る人が増えるといいなと思います。ますますのご発展をお祈りしています。
- その他：新盛地区や萩野地区で休耕田を借りて旧豊田市内の方々が稲作をしている話を聞きました。記事で紹介されてはどうでしょうか？